

平成 27 年度事業報告 六甲ゆりかご保育園

<職員配置>

園長	1名	0歳児担当保育士	2名
主任保育士	1名	1歳児担当保育士	2名
フリー保育士	1名	2歳児担当保育士	2名
すこやか保育士	1名	3歳児担当保育士	1名
保育補助	1名	4歳児担当保育士	1名
調理師	2名	5歳児担当保育士	1名
調理補助	3名	合計	19名

<健診医>

内科医	椿田小児科
歯科医	みき矯正歯科
眼科医	片野眼科
耳鼻科医	杉本耳鼻咽喉科

<苦情解決第三者委員>

苦情解決第三者委員	2名
-----------	----

<在園児童数>

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6	10	10	11	11	12	60
4月	5	12	13	13	13	14 (1)	70 (1)
5月	5	12	13	13	13	14 (1)	70 (1)
6月	5	12	13	13	14	14 (1)	71 (1)
7月	6 (2)	12	13	13	13	14 (1)	71 (3)
8月	6 (3)	12	13	12	13 (1)	13 (1)	69 (5)
9月	6 (1)	12	13	13	13 (1)	13 (1)	70 (3)
10月	6 (1)	12	12 (1)	13	13 (1)	13	69 (3)
11月	6 (1)	12	13 (1)	13 (1)	13 (1)	13	70 (4)
12月	6	12	13 (1)	13 (2)	13 (1)	13	70 (4)
1月	6	12	13 (1)	13 (2)	13 (1)	13	70 (4)
2月	6	11	13 (1)	13 (2)	13 (1)	13	69 (4)
3月	6	11	13 (1)	13 (2)	13 (3)	13	69 (6)

※月別の人数の () 内数字は、保育短時間認定児童数

※5歳児すこやか1名、3歳児すこやか1名含む (12月～)

<在園率>

	乳児	幼児	合計		乳児	幼児	合計
4月	115 (%)	111	116	10月	115	114	115
5月	115	111	116	11月	119	114	116
6月	115	120	118	12月	119	114	116
7月	119	117	118	1月	119	114	116
8月	119	111	115	2月	115	114	115
9月	119	114	116	3月	115	114	115

<延長保育・一時保育受入数>

	標準時間内延長保育		標準時間外延長保育			一時保育
	朝	夕	30分	1時間	日割り	(延べ人数)
4月	0	0	2	6	4	3
5月	0	0	3	6	4	6
6月	0	0	3	6	4	3
7月	0	0	3	6	4	10
8月	0	0	2	6	4	10
9月	0	0	2	6	4	6
10月	0	0	2	6	4	10
11月	0	0	2	5	4	8
12月	0	1	2	5	4	13
1月	0	1	2	4	6	6
2月	0	1	1	4	6	8
3月	0	1	1	4	6	7

<行事>

月	行事
4月	入園式 対面式 クラス懇談
5月	親子遠足 歯科健康教室<3~5歳児> お楽しみ食事会 ブロック交流会サッカー<5歳児>
6月	保育参観<2~5歳児> スカイパーク<4・5歳児>
7月	プール開き 七夕 お泊まり保育<5歳児>
8月	
9月	土山南公園<4・5歳児> 子どもフェスタ<4・5歳児>
10月	運動会 王子動物園遠足 いもほり<4・5歳児> なだっこフェスティバル<5歳児>
11月	市ヶ原散策<4・5歳児> 地域福祉センター老人会訪問<4・5歳児> ブロック交流会4つの遊びを楽しむ<5歳児> 制作展 感謝祭 消防訓練
12月	地域交流灘区愛のもちつき<3~5歳児> クリスマス会
1月	もちつき 地域福祉センター老人会訪問<4・5歳児> スケート<5歳児> よい子のつどい<5歳児>
2月	生活発表会 交通安全教室
3月	地域福祉センター老人会訪問<4・5歳児> 須磨海浜水族園遠足 お別れ会 布引ハーブ園散策<4・5歳児> 卒園並進級式

<運動あそび> 毎月2回

- ・フィールド・オブ・ゆうの先生による体育あそび・群れ遊び<3~5歳児>

<誕生日会> 毎月1回

- ・誕生日の保護者にも参加してもらい、希望で給食試食有。

<避難訓練> 毎月1回

- ・毎月1回消火器訓練（消火器の位置を確認）
- ・火災、地震、不審者侵入・津波を想定し、園庭、室内、近隣の公園への避難訓練を行う。
- ・11月は灘消防署立会のもと、総合訓練を実施。

<健康診断>

健診日	健診名	対象児
5月11日(月)	春季健康診断(椿田小児科)	全園児
6月4日(木)	歯科健診(みき矯正歯科)	全園児
10月8日(木)	秋季健康診断(椿田小児科)	全園児
12月21日(月)	歯科健診(みき矯正歯科)	4,5歳児
10月19日(月)	眼科健診(片野眼科)	4,5歳児
11月11日(水)	耳鼻科健診(杉本耳鼻咽喉科)	4,5歳児及び乳児の要健診者

*4・5歳児は、毎週2回フッ化物洗口実施

<乳幼児子育て応援事業>

- ・親子の触れ合いや園の行事に参加してもらうことで体験の機会を持てるようにする。
- ・毎週水・木曜日/園庭開放

<安全管理>

P	D	C	A
保証体制を整える	<ul style="list-style-type: none"> ・日本スポーツ振興センター、プレミアムサポート保険に加入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本スポーツ振興センターの利用なし。 ・プレミアムサポート保険の利用は4件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行2社の保険に引き続き加入。
職員の事故防止意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・固定遊具は時期や時間によって使えるクラスを決める。 ・小さなことも見過ごさず子どもと職員の認識が同じになるよう遊び方の統一をはかる。 ・職員が全員遊びこんでしまうことのないように一人は全体を見るなど役割分担を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定遊具での事故、怪我はなかった。 ・砂を投げる・四輪車を猛スピードで漕ぐなどの行為がたまに見られた。 ・一方向から見ることもあり、見回りに隙が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き正しい使い方を伝えていく。 ・自分の体、友だちの体を傷つける遊び方をしないように伝えていく。 ・経験のある職員が適切な助言を行っていく。
感染症の拡大を防ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・嘔吐下痢症等の感染者が多く出た場合は、クラスごと隔離する等の措置をとる。 ・感染者が出た場合は、クラス別の感染者数を保護者に知らせ注意を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月～3月にかけてインフルエンザが流行した。 ・感染状況を知らせることで、子どもの体調変化に気付いてもらえた。 ・夕方、プーラックスで消毒を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へクラス別発生状況を伝えることで、関心を持ってもらうと同時に早めの対処を心がけてもらう。 ・感染症の出やすい時期も含めて、毎日行う。

薬の飲み間違いをしない	<ul style="list-style-type: none"> ・与薬依頼書に必要事項を記入のうえ、薬と一緒に手渡ししてもらう。 ・薬に名前を書いてもらう。 ・薬を飲ませる際に、別の職員に確認してもらうことで、飲み間違いを防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み間違いはなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく。
アレルギー食対応児への誤食、誤飲をしない	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の名札を使い、配膳間違いを防ぐ。 ・食材表を確認してから配膳する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーでの配膳で間違いはなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく。
SIDSを防ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児は5分毎、1歳児は15分毎、2歳児は30分毎に呼吸確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発症児はいなかった。 ・チェック表の記入漏れもなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく。

社会福祉法人ゆりかご 研修計画

	ねらい	OJT	OFF-JT
新人職員 (～3年目)	<ul style="list-style-type: none"> ○社会人としての自覚を促す。 ○職務に必要な基礎的知識・技能を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○法人理念、方針 ○個人情報保護 ○マナー (挨拶、電話、身だしなみ等) ○衛生管理 ○保育(給食)内容 ○各種書類の書き方 ○怪我への対処方法 	<ul style="list-style-type: none"> ○法人理念、方針(1) ○個人情報保護(2) ○保育園職員新人研修(3) ○衛生管理研修(4) ○小児救急法(5) ○食育研修(6) ○保育(給食)内容(7) ○エピペン取扱い研修(8) ○障害児保育に関する研修(10) ○乳児保育研修(12)
中堅職員 (～概ね6年目)	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者としての専門性や実践的指導力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新人の指導、育成 ○保護者対応 ○苦情対応 ○安全管理 	<ul style="list-style-type: none"> ○小児救急法(5) ○保育(給食)内容(7) ○エピペン取扱い研修(8) ○保育制度の研修(9) ○保護者支援(10) ○障害児保育に関する研修(11) ○乳児保育研修(12) ○保育大会への参加(13) ○子どもの権利に関する研修(21)
リーダー職員 (概ね7年目以降)	<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理意識を持ち、保育者としてのリーダー性を高める。 ○園運営に参画する資質、能力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育所保育指針 ○危機管理 ○中堅・新人の指導、育成 ○苦情受付・解決 ○施設運営 ○保育内容の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○小児救急法(5) ○エピペン取扱い研修(8) ○保育の動向(14) ○危機管理(15) ○人材育成(16) ○苦情解決(17) ○メンタルヘルス(18) ○食中毒・感染症予防(19) ○リーダーシップ研修(20)

<研修参加>

担当	経験年数	研修名	主催	種別
0 歳児	6 年目	・楽しい保育～ゲーム遊び、作って遊ぼう～ ・救急安全講座 ・乳児期の保育の重要性 ・子どもに寄り添う保育	・私保連	7
			・市民福祉大学	5
			・神戸市こども家庭局	12
			・神戸市こども家庭局	7
0 歳児	3 年目	・赤ちゃん学講座（全 10 回） ・意欲を引き出す言葉かけ ・発達障害のある子どもへのサポート	・神戸親和女子大学	12
			・一般社団法人 そだち	7
			・一般社団法人 そだち	11
1 歳児	7 年目	・アレルギー対応について ・運動会研修 ・運動あそび講習	・神戸市こども家庭局	8
			・私保連	7
			・フィールド・オブ・ゆう	7
1 歳児	1 年目	・運動会研修 ・保育園新任職員研修 ・正月あそびとボールを使ったゲーム	・私保連	7
			・市民福祉大学	3
			・フィールド・オブ・ゆう	7
2 歳児	3 年目	・楽しい保育～ペーパークラフト しかけを 楽しむ～ ・運動あそび講習 ・3つの色から広がる不思議	・私保連	7
			・フィールド・オブ・ゆう	7
			・私保連	7
2 歳児	3 年目	・造形遊びの実践と展開 ・子どもの気持ちに寄り添う ・ふれあい運動あそび ・運動あそび講習	・日保協	7
			・神戸市こども家庭局	7
			・灘区保育所研修担当委員会	7
			・フィールド・オブ・ゆう	7
3 歳児	3 年目	・ふれあい運動あそび ・質の高い指導計画を考える ・子どものほめ方、叱り方 ・気になる子どもの理解と支援	・灘区保育所研修担当委員会	7
			・神戸市こども家庭局	7
			・一般社団法人 そだち	7
			・神戸親和大学	11
4 歳児	8 年目	・フッ化物洗口実施に関する研修会 ・保育の質を高める研修	・子育て支援部	4
			・一般社団法人 そだち	7
5 歳児	3 年目	・フッ化物洗口実施に関する研修会 ・絵本からごっこあそび ・発達を促すあそび	・子育て支援部	4
			・私保連	7
			・一般社団法人 そだち	7
フリー	3 年目	・アナログゲームを通して保育で子どもを 育てるには ・造形遊びの実践と展開	・私保連	7
			・日保協	7
保育補助	2 年目	・発達の気になる子どもに対する支援	・私保連	11
主任	12 年目	・コミュニケーションの重要性 ・リスクマネジメント ・認定こども園について ・気になる子どもへの援助 ・大人のぬりえ	・私保連	16
			・神戸市こども家庭局	15
			・私保連	9
			・私保連	11
			・私保連	7

担当	経験年数	研修名	主催	種別
調理師	10年目	・食品衛生講習会	・神戸市保健所	4
		・公私合同調理従事者研修会	・私保連	7
		・調理技術講座	・市民福祉大学	7
調理師	1年目	・保育園の食事提供の基本について	・神戸市こども家庭局	6
		・感染症予防対策	・灘区保育所研修担当委員会	19
		・食物アレルギーへの理解	・神戸医療誠克協同組合	8

<PDCA>

P	D	C	A
<p>・職務に関する事柄は経験のある職員が指導者となり教えていく。</p> <p>・保育士としての資質向上をはかる。</p> <p>・エピペン取扱い研修を行う。</p> <p>・感染症、特に嘔吐に対する処置の仕方を学ぶ。</p>	<p>・クラスリーダー、乳児、幼児リーダーが主となって指導にあたる。</p> <p>・関係機関の研修へ参加する。</p> <p>・エピペン使用法を園長のもとで実地研修。</p> <p>・実際の場面を想定して行う。</p>	<p>・保育を行う中でその都度指導があった。</p> <p>・経験に合わせて参加できたが、本人から参加したいとの申し出が少なかった</p> <p>・グループに分かれ、エピペンの仕組みやうつ場所について研修を受けた。</p> <p>・合せて実践で効力のあつる対処について学ぶ。</p>	<p>・今後も必要に応じて指導を継続していく。</p> <p>・課題を明確にし、自発的に参加しようとする意識改革を行っていく。</p> <p>・年一回のペースで次年度以降も行っていく。</p> <p>・実践を踏まえた方法で行っていきたい。(あまり広がらなかったのが今後も続けたい。)</p>